

# 支管用非開削推進工法 PD-4推進工法

## はじめに

- PD-4推進工法は水路横断や道路横断など、概ね5m～10m程度の短距離をターゲットにした非開削工法です。
- ガス導管敷設区間の両端を掘削し、端から端までガス導管引込み用ロッドを推進させ、ロッドにガス導管を接続し引き戻すことにより、ほとんど非開削でガス導管を敷設することが可能な工法である。

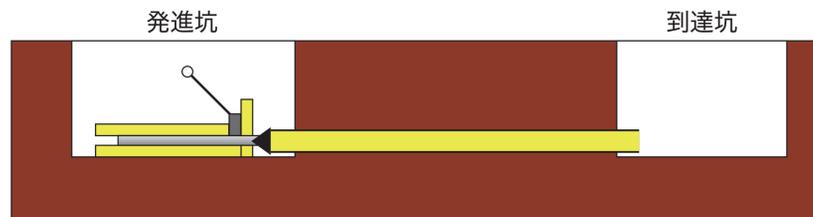
### ① ロッドを土中に推進させる



### ② バックリーマーと配管取り付け



### ③ ポリエチレン管の引っ込み完了



## 工法の特徴

- 工事騒音・振動、交通規制が緩和されるため、工事周辺のお客様への影響度を低減できる。
- 工事の機械化で人力作業を軽減できる。
- ガス導管工事コストの大部分を占める、開削・埋戻し等の土木・舗装復旧費を大幅に削減できる。
- 開削で発生する残土、廃材が少ないので環境対策でも優れている。
- 作業ヤードがコンパクトである。

## 適用範囲

適用土質	一般的な表層度(粘性土、砂質土)
適用管径・管種	ポリエチレン管 50A～75A
立坑	発進：2.00×1.50 到達：1.50×1.50
最大推進延長	5～10m程度
最低土被り	埋設深さ0.9m以上かつ道路管理者の定める最低埋設深さを満たしていること。 標識シートが設置できないことから、他工事対策を考慮した土被りにする。
主な用途	カルバート等短距離推進